

## やんぱく通信

Vol.  
014


令和8年、2026年がスタートしました。今年も「やんぱく」では、ふだんの展示の魅力  
を伝える活動はもちろん、様々なイベントや体験学習などを通して、歴史や文化に楽  
しく親しんでもらえる機会を増やしていきたいと考えています。1～2月は「やんぱく講  
座」（全4回）、多彩なテーマを用意して、ご参加お待ちしております！



## スケジュール

詳細はHPでご確認ください。【 お問い合わせ／お申し込み：0279-82-5150 】

	特別展示・イベント	その他
1月	<p><b>「やんぱく講座」 ～見て 知って 学んで ながのはら～</b> 毎冬恒例の座学の講座。今年度は外部の講師も招いてますます充実！</p> <p>1/24 (土) 史料から読み解く 近世の長野原</p> <p>1/31 (土) 私が発掘した ハッ場の遺跡</p>	
2月	<p>2/7 (土) 「續膝栗毛十一編 上」を読もう</p> <p>2/14 (土) 「上毛かるた」と 「天明泥流」</p>	
3月	<p>【あなたもサポーターになってみませんか！？】 <b>「第3期ミュージアムサポーター 養成講座」</b> 展示解説などミュージアムの活動を支えるサポーターを募集します。</p>	<p>1月下旬～受付</p> <p>3/7(土) 開催</p>

## 施設案内

## 開館

9:00～16:30  
(最終入館 16:00)

## 休館日

水曜日  
※水曜が祝日・振替休日の場合はその翌日  
※年末年始

## 入館料

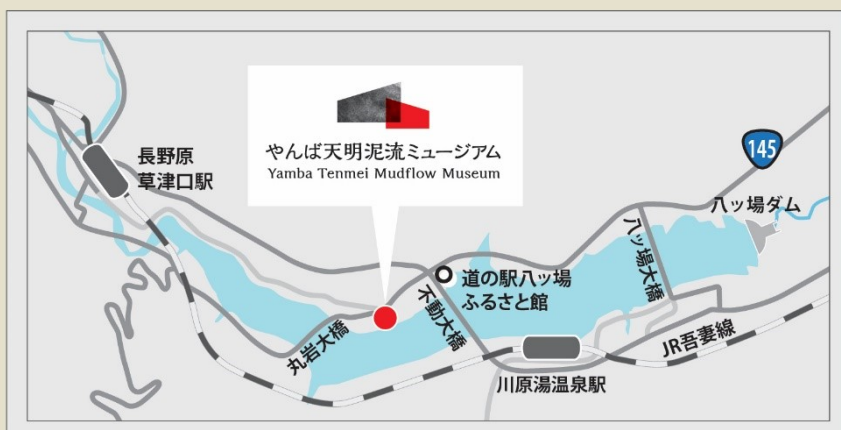
一般：600円 (500円)  
小・中学生：400円 (300円)  
※( )内は15名以上の団体割引料金 ※町民無料

## お問い合わせ

TEL:0279-82-5150 FAX:0279-82-5152  
群馬県吾妻郡長野原町大字林1464-3

## アクセス

周遊バス「ハッ場ぐるりん」もご利用ください



2026(令和8)年は午年…ということで、当館の展示のなかからウマにまつわる部分をご紹介します。江戸時代のハッ場の人々にとってウマは運搬・移動・耕作に欠かせない大切な存在でしたが、それはガイドンスコーナーにある東宮遺跡Ⅰ号屋敷のジオラマを見てもよくわかります。この屋敷には人々が暮らす母屋の土間の一部に、ウマ5頭分のウマヤがあったことが発掘調査で確認されています。

さらにこの家に伝わる口承に、天明噴火の際、「大切な酒(この家では酒造りもしていました)をウマ5頭につけて逃げた」という話があり、ウマヤの数ともぴったりに合います。人とウマはひとつ屋根の下ともに暮らし、災害時もともに生き延びたのです。(藤野)



### ミュージアム 私のイチオシ！



高平 正美  
(ミュージアム職員)

当館の常設展示室の中の「よみがえる人々の暮らし」というコーナーに、江戸時代の「搾油器」の展示(出土品とレプリカ)があります。このレプリカを使用して、職員が実際にエゴマ100gから油の抽出実験をしました。(すりこぎで擦るため汗だくになりながら！) 採取した油を灯明皿に移し、芯を油に浸して、その後芯の先を皿の外に出し、そこに火を点けて、行灯にセットして、江戸時代の明るさを体験…、ほの暗い明かりでした。当時の人々が大変な思いをして“灯”を身近にした情景が思い浮かびました。現在ではスイッチひとつで明かりが手に入りますが、先人の苦労を思い、感謝感謝で頭が下がりました。



子どもたちの搾油体験の様子

### 活動報告

#### 郷土玩具 キジグルマをつくろう！

12月に開催したキッズデーでは、長野原町に伝わる郷土玩具「キジグルマ」をつくるワークショップを開催しました。当日は小学生から大人までの参加者が、木を削り、色を塗り、車輪をつけて、それぞれ個性的なキジグルマのミニチュアを完成させました！町内の中央小学校3年生の図工の授業でも同様の体験学習をおこない、子どもたちに伝統行事に触れてもらう活動をおこなっています。



### お知らせ

#### 第3期ミュージアムサポーターを募集します！

来年度で立ち上げから5年目を迎えるミュージアムサポーターの会。来年度から活動していただく新規サポーターを募集します。サポーターの活動は、館内の展示解説やイベント・ワークショップの運営補助、草刈り・植栽などの美化活動など、あなたの特技や経験を生かして活動して頂きます。ご応募お待ちしております！